

コース番号：24-43-12-006-013

# 原価管理とコストダウン

## 人材育成上の課題・目標

- ・製造原価を見直してコストダウンしたい
- ・現場改善を行ったが思ったような成果が出ない
- ・現場改善の客観的なデータを把握したい
- ・I E手法による現場改善を行いたい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・シミュレーションソフト等により原価シミュレーションする
- ・ロス低減のための改善方法を理解する
- ・見積りコスト算出及びコストダウン実行計画を策定する
- ・I E手法による最適な生産システムを提案する

## コースのねらい

低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト（費用削減）と生産性（業務効率向上）の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。

## カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ 原価管理とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価管理の基礎知識</li> <li>・原価を構成する要素</li> <li>・損益分岐点</li> <li>・財務諸表とその読み方</li> </ul>
	■ コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減の着眼点</li> <li>・コスト削減のための発注改善</li> <li>・職場の物理的ムダの改善</li> </ul>
	■ I E手法による標準時間設定方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I E (Industrial Engineering) とは</li> <li>・標準時間の設定手法</li> <li>・統計的時間資料の考え方</li> <li>・余裕率の設定方法</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト等による原価シミュレーション</li> <li>・ロス（不良、労務費）低減のための改善演習</li> <li>・見積りコスト算出・購買・今後の改善案及びコストダウン実行計画策定</li> </ul>
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I E手法による最適な生産システムの設計・改善・構築</li> <li>・I Cタグやビッグデータの活用による在庫管理の最新動向</li> <li>・現場におけるコストダウン活動のポイントと事例紹介</li> </ul>

## 日程設定と受講料

1日（6時間）コース  
3,300円（税込）

※金額は、1名あたりの受講料です。

## 推奨対象者

中堅層・管理者層

## 関連コース

- A 生産管理
- ・サービス業におけるI E活用
  - ・購買・仕入れのコスト削減
  - ・POSシステムの活用技術
- A バックオフィス
- ・企業価値を上げるための財務管理

※訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。